タウントピックス

12/17 日本・台湾野球大会に 2名が出場

▲西脇選手（左）と中塚選手。

教育委員会は、台湾で行われた日台国際野球大会（12 月 31 日～ 1 月 4 日）に、兵庫県選抜チームとして出場した泉中学校 2 年生の西脇大富選手（越水町）と中塚啓太選手（小印南町）に賞賜金を贈呈しました。

2 人は、中学硬式野球の北播リトルシニアに所属。西脇選手は捕手、中塚選手は外野手兼投手で活躍しています。

12/22 新しい地域の名所に「法華口三重塔」

▲三重塔の前でテープカット。

法華口駅で「北条鉄道 6 駅トイレ完成感謝並びに三重塔お披露目式」が行われ、約 450 人が集まりました。

高さ 7m の三重塔は、建築業を営む甲光宏さん（東横田町）から市に寄贈され設置。夜にはライトアップもしています。

企業やボランティアの協力により新しくなったトイレとともに、地域の新しい交流の場となっています。

12/26 赤ちゃんから命の大切さを学ぶ

▲赤ちゃんの母親から、成長の様子などを聞く児童。

学童保育園の新しい取り組みとして、「赤ちゃん先生プロジェクト」がスタートしました。

北条学童保育園の小学 1 ～ 3 年生 15 人は、「手が小さくてかわいかった」など、自分と比べることで成長を感じていました。同プロジェクトは、児童が赤ちゃんを抱っこしたり、手足の大きさを比べたりして触れ合うことで、命や家族の大切さを学びます。

1/1 花で満ちあふれた加西市に

▲小中学生から応募のあった中から選ばれた「花」を書き初めする水田会長。

加西市青少年団体連絡協議会が主催する「新春のつどい」が開催され、458 人がいこいの村裏山のランドマーク展望台に登り初日の出を拝みました。

下山後、北条小学校の大西叶恩さん（4 年）が「花で満ちあふれた加西市にしたい」と願いを込めた 2014 年の漢字「花」を、同協議会の水田好洋会長が縦・横約 120㎝の紙に書き初めをしました。

まちの出来事

1/4 佐伯さんが女子プロ野球選手に

▲「プロの世界にワクワクしている」と打撃に自信を持つ佐伯さん。

佐伯千夏選手（西笠原町）が、昨年 9 月に女子プロ野球のトライアウトに合格し、12 月に京都市を拠点とする「ウエストフローラ」への入団が決まりました。

佐伯さんは小学 4 年生から少年野球を始め、善防中学校と北条高校ではソフトボール部に所属。その後、至学館大学（愛知県）で捕手や内外野手として活躍しました。

1/12 新たな自覚と責任を誓う

▲東一さん（西笠原町）が誓いの言葉を述べました。

加西市成人式が市民会館で開催され、401 人が参加。新成人を代表して、東一和佐さんが「逆境の中でも理想を持ち、自らの信念を貫きたい」と力強く誓いました。その後、恩師からのビデオレターや、久しぶりに会う友人たちと旧交を温めました。

また、新成人が一人一人持ち寄った写真で作成した看板は、市役所 1 階に展示されています。

1/14 ふるさとハローワークを開設

▲ふるさとハローワークの職業相談コーナー。

加西市は、市内で職業相談や職業紹介、パソコンでの求人情報検索などのサービスが受けることができるようにするため、アスティアかさい 4 階に「加西市ふるさとハローワーク」を、ハローワーク西脇と共同で開設しました。

また、若者や子育て世帯の方が気軽に相談できるように、市の就労支援員を配置しました。

1/18 播農農高の新鮮な野菜を販売

▲常設で販売するのは全国的にも珍しい。

播磨農業高校の生徒が作った野菜や加工品を販売するアンテナショップとして「ぴよ吉市場」が、えぇもん王国（北条町横尾）の協力を得てオープンしました。

市の若者チャレンジ事業助成金を利用し、実習で育てた白菜やキャベツ、ニンジン、米、卵などを販売。また、こだわりの「播農タイ風チキンカレー」も販売しています。

加西市のことなら

加西市ホームページ

加西市　検索

テレビで緊急情報「まちナビ」

サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」

災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

子育て、定住支援情報なら

子育て・定住支援情報サイト

ふるさと加西は風土記1300年

事業の取り組み等を紹介

かさい観光Navi

Check it out KASAI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載